

**田尻町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
進捗状況及び効果検証調書**

令和7年7月1日

田尻町総務部企画人権課

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1)基本方向								
【ひと】 1. 若者の人口流入を確保し、地元定着を促進する	■25歳から39歳までの転入超過数5年間で50人	・若い世代の転入が概ね泉州地域から生じており、また日常生活圏も泉州地域を中心にしていることから、若い世代の転入を促進するとともに、地域の特性を生かして、充実した生活を送り、住み続けられるように、地元定着を促進する。 ・田尻町に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大を図る。								
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)										
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6			
転入・定住の促進	○シティプロモーションの推進 ○税の優遇策 ○三世同居等支援 ○転入・定住促進助成 ＊空家等の活用・流通促進	25歳から39歳までの転入超過数 ⇒ 5年間で 50人  空家等利活用等実績 ⇒ 5年間で 10件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況			
			25歳から39歳までの転入超過数：△25人 空家等利活用等実績：0件	25歳から39歳までの転入超過数：△49人 空家等利活用等実績：0件	25歳から39歳までの転入超過数：△29人 空家等利活用等実績：0件	25歳から39歳までの転入超過数：△12人 空家等利活用等実績：0件	25歳から39歳までの転入超過数：△41人 空家等利活用等実績：0件			
			具体的な取組進捗状況 ○シティプロモーション事業は、次年度以降に具体策を検討する。 ○町民税10%減税の実施（約4,000万円の減税） ○三世同居・近居助成実績 13件 三世同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げを引き続き実施した。 ○転入・定住促進助成 20件 銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを引き続き実施した。 ＊空家等の活用・流通促進：一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会泉州支部と「田尻町空家等の利活用に関する相談業務等に係る協定書」を締結。相談会実施を予定していたが、新型コロナ感染関係で未実施。	具体的な取組進捗状況 ○シティプロモーション事業は、次年度以降に具体策を検討する。 ○町民税10%減税の実施（約4,400万円の減税） ○三世同居・近居助成実績 5件 三世同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げを引き続き実施した。 ○転入・定住促進助成 22件 銀行と連携し、転入・定住促進及び親元近居住宅ローンの取扱いを引き続き実施した。 ＊空家相談会 1回 空家撤去費補助 5件 空家撤去略式代執行 1件	具体的な取組進捗状況 ○シティプロモーション事業は、次年度以降に具体策を検討する。（SNS利用） ○町民税10%減税の実施（約4,400万円の減税） ○三世同居・近居助成実績 7件 三世同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げを引き続き実施した。 ○転入・定住促進助成 16件 ＊空家相談会を年4回予定していたが、申込者なし。 空家撤去費補助 5件	具体的な取組進捗状況 ○シティプロモーション事業について、令和6年度からSNSを活用した取組を実施する。 ○町民税10%減税の実施（約4,500万円の減税） ○三世同居・近居助成実績 4件 三世同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げを引き続き実施した。 ○転入・定住促進助成 17件 ○奨学金返還支援 令和6年4月からの制度開始に向け、制度設計や要綱制定、広報周知などに取り組んだ。 ＊空家相談会を年3回予定(内1回は大阪府によるイベントにて実施)していたが、申込者なし。 空家撤去費補助 3件	具体的な取組進捗状況 ○インスタグラムの町の魅力発信 投稿数 66件 ○三世同居・近居助成実績 9件 三世同居・近居助成について、住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げを引き続き実施した。 ○転入・定住促進助成 7件 ○奨学金返還支援 35件 働く若者の経済的負担を軽減し、また本町への定住を促進するため奨学金の返還支援を実施した。 ＊空家相談会を年2回予定(内1回は大阪府によるイベントにて実施)していたが、申込者なし。 空家撤去費補助 2件			
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証		
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			
			施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
			田尻町に継続的に多様な形で関わる「関係人口」の創出・拡大	* 転出者と町のつながりづくり	ふるさと納税実績 100件 ⇒ 200件	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
ふるさと納税実績：479件	ふるさと納税実績：1,701件	ふるさと納税実績：1,469件				ふるさと納税実績：1,135件	ふるさと納税実績：3,737件			
具体的な取組進捗状況 ○ふるさと納税返礼品の追加(金芽米等) ふるさと納税実績 479件、12,269,000円 ＊ふるさと納税者に対する個別メール配信等の検討を行った。転出者の施設利用の優遇については、次年度以降に検討する。	具体的な取組進捗状況 ○ふるさと納税返礼品の追加(氷温熟成牛等)及びポータルサイト(楽天)の追加 ふるさと納税実績 1,701件、37,756,400円 ＊ふるさと納税者に対する個別メール配信等の検討を引き続き行った。転出者の施設利用の優遇については、次年度以降に検討する。	具体的な取組進捗状況 ○ふるさと納税返礼品の追加(ホテルベイガルス宿泊等)及びポータルサイトの修正 ふるさと納税実績 1,469件、46,073,200円 ＊ふるさと納税者に対する個別メール配信等の検討を引き続き行った。転出者の施設利用の優遇については、次年度以降に検討する。				具体的な取組進捗状況 ○ふるさと納税返礼品の追加(金野タオル等)及びポータルサイトの修正 ふるさと納税実績 1,135件、26,181,100円 ＊ふるさと納税者に対する個別メール配信等の検討を引き続き行った。転出者の施設利用の優遇については、次年度以降に検討する。	具体的な取組進捗状況 ○ポータルサイトの追加(さとふる)及び定期返礼品の大幅な見直し ふるさと納税実績 3,737件、109,449,600円 ＊ふるさと納税者に対する個別メール配信等の検討を引き続き行った。転出者の施設利用の優遇については、次年度以降に検討する。			
効果・検証	効果・検証	効果・検証				効果・検証	効果・検証			
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続						

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1)基本方向					
【ひと】 2. 子育て環境・教育環境の整備により、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	■合計特殊出生率 5年後に 1.6以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代が家庭を持ちやすい環境づくりのため、安心して働き、出産・子育て・教育がしやすい取り組みを切れ目なく行い、子どもの健やかな成長を家庭・地域で支えていくまちづくりを進める。</li> <li>保幼小中一貫教育を推進し、特色ある教育環境を他の子育て支援施策等とあわせて、まちの魅力向上や地域の付加価値増大につなげ、子育て世代を中心とした若年世帯の定住促進をめざす。</li> </ul>					
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
母子保健の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的不妊不育治療助成事業</li> <li>○妊婦相談</li> <li>○乳児訪問事業</li> <li>○乳幼児健康診査</li> </ul>	妊婦面接 100% ⇒ 100% 乳児訪問 100% ⇒ 100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診 100% ⇒ 100% ・1歳6か月児健診 96% ⇒ 100% ・3歳6か月児健診 94% ⇒ 100%	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			妊婦面接：100% 乳児訪問：98% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診：100% ・1歳6か月児健診：99% ・3歳6か月児健診：100%	妊婦面接：100% 乳児訪問：98% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診：98% ・1歳6か月児健診：98% ・3歳6か月児健診：99%	妊婦面接：100% 乳児訪問：100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診：100% ・1歳6か月児健診：104% ・3歳6か月児健診：96.9%	妊婦面接：100% 乳児訪問：98% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診：100% ・1歳6か月児健診：101% ・3歳6か月児健診：95.8%	妊婦面接：100% 乳児訪問：100% 乳幼児健診受診率 ・5か月児健診：100% ・1歳6か月児健診：101% ・3歳6か月児健診：100% ・妊婦へのお米の定期便事業の周知：100%
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等を実施した。 また、不安の高まりやすい産後早期の支援も実施した。	妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談訪問等の支援を実施した。 また、不安の高まりやすい産後早期の支援も実施した。 令和3年度より、妊娠中のセルフプランの活用を開始し、妊娠期からの支援充実を図っている。	妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談・訪問等の支援を実施した。 出産後には訪問を実施し、不安や悩みについての相談を受けるように努めた。 妊娠届出時に、セルフプランの作成を保健師と行い、妊娠期からの支援充実を図った。 R5年3月よりたじりっ子出産・子育て応援事業を開始し、一貫した伴走型相談支援と経済的支援を実施した。	妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談・訪問等の支援を実施し、出産後には訪問を行い不安や悩みについての相談を受けるように努めた。 妊娠届出時に、セルフプランの作成を保健師と行い、妊娠期から出産後を見据えた支援の充実を図った。 たじりっ子出産・子育て応援事業では、保健師による伴走型相談支援と経済的支援を実施した。	妊娠期から子育て期まで切れ目なく相談・訪問等の支援を実施し、出産後には訪問を行い不安や悩みについての相談を受けるように努めた。 妊娠届出時に、セルフプランの作成を保健師と行い、妊娠期から出産後を見据えた支援の充実を図った。 たじりっ子出産・子育て応援事業では、保健師による伴走型相談支援と経済的支援を実施した。 妊娠中の食事バランス、生活習慣を見直すきっかけ、経済的負担軽減のため、妊婦1人につき、毎月「金芽米」1袋(4.5kg)の配送を実施した。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
		令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
子育て支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こども医療費助成事業</li> <li>○保育事業</li> <li>○放課後児童健全育成事業</li> <li>○子育て支援センター事業</li> <li>○キッズルームの運営</li> <li>○ファミリーサポートセンター事業</li> </ul>	保育所待機児童数 5人 ⇒ 0人 学童保育待機児童数 0人 ⇒ 0人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			保育所待機児童数：1人 学童保育待機児童数：0人(0人)	保育所待機児童数：0人 学童保育待機児童数：0人(0人)	保育所待機児童数：0人 学童保育待機児童数：0人(0人)	認定こども園待機児童数：0人 学童保育待機児童数：0人(0人)	認定こども園待機児童数：0人 学童保育待機児童数：0人(13人)
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			<p>○こども医療費助成事業については、助成対象となる年齢(0歳から高校卒業まで)の児童が漏れなく医療費の助成を受けられるよう、ひとり親家庭医療費助成事業等の他事業と調整しながら、事業の継続・周知を行った。</p> <p>○広域入所及び私立幼稚園通園児童を対象とした給食費助成金制度を継続実施した。 幼稚園における一時預かり事業(幼稚園型)を継続実施した。 保育所・幼稚園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した更なる業務の効率化を推進した。</p> <p>○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。</p> <p>○子育て支援センター事業として、引き続き一時預かり事業(一般型)を実施した。 なお、例年、健康課と合同で開催している産後交流会及び健康課・中学校と合同で開催している思春期体験(赤ちゃんの抱っこ体験)については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配布並びにイベントの実施等を行った。</p> <p>○田尻町社会福祉協議会に事業を委託を行い、こどもの預かり、送迎を行った。また、チラシの配布を行い、会員に対して研修等を行った。</p>	<p>○こども医療費助成事業については、助成対象となる年齢(0歳から高校卒業まで)の児童が漏れなく医療費の助成を受けられるよう、ひとり親家庭医療費助成事業等の他事業と調整しながら、事業の継続・周知を行った。</p> <p>○広域入所及び私立幼稚園通園児童を対象とした給食費助成金制度を継続実施した。 幼稚園における一時預かり事業(幼稚園型)を継続実施した。 保育所・幼稚園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した更なる業務の効率化を推進した。</p> <p>○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。</p> <p>○子育て支援センター事業として、引き続き一時預かり事業(一般型)を実施した。 一時預かり事業(一般型)は、一日の利用定員を3人→5人に増加したことにより、利用者数が増加した。 なお、例年、健康課と合同で開催している産後交流会及び健康課・中学校と合同で開催している思春期体験(赤ちゃんの抱っこ体験)については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配布並びにイベントの実施等を行った。</p> <p>○田尻町社会福祉協議会に事業を委託を行い、こどもの預かり、送迎を行った。また、チラシの配布を行い、会員に対して研修等を行った。</p>	<p>○こども医療費助成事業については、助成対象となる年齢(0歳から高校卒業まで)の児童が漏れなく医療費の助成を受けられるよう、ひとり親家庭医療費助成事業等の他事業と調整しながら、事業の継続・周知を行った。</p> <p>○広域入所及び私立幼稚園通園児童を対象とした給食費助成金制度を継続実施した。 幼稚園における一時預かり事業(幼稚園型)を継続実施した。 保育所・幼稚園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した更なる業務の効率化を推進した。</p> <p>○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。</p> <p>○子育て支援センター事業として、引き続き一時預かり事業(一般型)を実施した。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた、産後交流会(健康課と合同)、思春期体験「赤ちゃんの抱っこ体験」(健康課・中学校と合同)をそれぞれ再開した。</p> <p>○キッズルームでは、引き続き保育所・幼稚園及び小学校に案内チラシを配布並びにイベントの実施等を行った。</p> <p>○田尻町社会福祉協議会に事業を委託を行い、こどもの預かり、送迎を行った。また、チラシの配布を行い、会員に対して研修等を行った。</p>	<p>○こども医療費助成事業については、助成対象となる年齢(0歳から高校卒業まで)の児童が漏れなく医療費の助成を受けられるよう、ひとり親家庭医療費助成事業等の他事業と調整しながら、事業の継続・周知を行った。</p> <p>○広域入所及び私立幼稚園通園児童を対象とした給食費助成金制度を継続実施した。 認定こども園における一時預かり事業(幼稚園型)を継続実施した。 保育所・幼稚園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した更なる業務の効率化を推進した。</p> <p>○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。</p> <p>○子育て支援センター事業として、引き続き、一時預かり事業(一般型)及び産後交流会(健康課と合同)を実施した。</p> <p>○キッズルームでは、引き続きこども園及び小学校に案内チラシを配布並びにイベントの実施等を行った。</p> <p>○田尻町社会福祉協議会に事業を委託を行い、こどもの預かり、送迎を行った。また、チラシの配布を行い、会員に対して研修等を行った。</p>	<p>○認定こども園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した引き続き業務の効率化を推進した。 ○学童保育については、平成28年度からの指定管理者制度での事業実施を継続した。</p> <p>○こども医療費助成事業については、助成対象となる年齢(0歳から高校卒業まで)の児童が漏れなく医療費の助成を受けられるよう、ひとり親家庭医療費助成事業等の他事業と調整しながら、事業の継続・周知を行った。</p> <p>○広域入所及び私立幼稚園通園児童を対象とした給食費助成金制度を継続実施した。 認定こども園における一時預かり事業(幼稚園型)を継続実施した。 保育所・幼稚園において、ICT環境を利用した教育(保育)の充実や園務支援システムを利用した更なる業務の効率化を推進した。</p> <p>○子育て支援センター事業として、引き続き、一時預かり事業(一般型)及び産後交流会(健康課と合同)を実施した。</p> <p>○キッズルームでは、引き続きこども園及び小学校に案内チラシを配布並びにイベントの実施等を行った。</p> <p>○田尻町社会福祉協議会に事業を委託を行い、こどもの預かり、送迎を行った。また、チラシの配布を行い、会員に対して研修等を行った。</p>
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
			KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			保幼小中交流行事等実施回数：0回/年度	保幼小中交流行事 6回 3年度 (さまざまな小さな交流は、10回以上を超えてきている)	保幼小中交流行事 5回 4年度 (さまざまな小さな交流は、10回以上を超えてきている)	園小中交流行事 5回 R5年度 (さまざまな小さな交流は、10回以上を超えてきている)	園小中交流行事 5回 R6年度 (さまざまな小さな交流は、10回以上を超えてきている)
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
まちの魅力につながる保幼小中一貫教育の推進と教育環境の充実	<p>○保幼小中一貫教育の実践 *一貫校の導入の検討 ○国際理解教育・英語教育の実践 ○ICTを活用した授業の実践 ○地域と連携した体験学習などの特色のある学習の推進 ○学校施設の整備 *一貫教育をめざした施設整備の検討</p>	<p>保幼小中一貫教育に対する住民の認知度 ⇒ 5年後 80%</p> <p>保幼小中交流行事等実施回数 ⇒ 5回/年度</p>	<p>○保幼小中の教職員と教委で構成されたメンバーによる保幼小中一貫教育に関する会議を開催。また、生徒指導担当者会議や学力向上担当者会議などの各分野に分かれての会議も開催。専門家による支援事業・学力向上事業など、一貫した取組みを実施。 *一貫校の導入に向け、「まちの魅力につながる保幼小中一貫教育推進プロジェクト」推進会議を2回開催した。また、保幼小中一貫校を踏まえた認定こども園への移行についての検討会議を開催した。</p> <p>○ALTの保幼小中での勤務や、小学校への英語専科教員の配置による充実した授業を実施。</p> <p>○「GIGAスクール構想」実現のための1人1台端末の整備及び小中学校の校内通信ネットワークの整備を図った。 保幼小中一貫した情報教育の実施やGIGAスクール構想を基にしたICT機器を活用した効果的・効率的な授業を実施。 租税教育モデル校として、税理士等を講師としたオンライン授業を実施した。</p> <p>○中学生が役場・漁組との話し合いを重ね、田尻町の版のSDGsを作成した。</p> <p>○学校給食場の空調を整備し、小学校の空調を更新した。また、小中学校体育館の空調整備に向け、実施設計を行った。 *一貫教育をめざした施設整備の検討のための施設である「教育センター」の実施設計を行った。</p>	<p>○保幼小中の教職員による一貫教育に関する研修をオンラインにて開催した。生徒指導担当者会議や学力向上担当者会議などの各分野に分かれての会議は定期的に開催した。 *地域住民や有識者による田尻町保幼小中一貫教育検討委員会を設置し、年3回、主に教育環境について審議を行った。その中で、施設の位置を含めた教育環境について諮問し、地域との交流を促進するためにも、町の中心である現地建て替えが望ましいとの答申を受けた。 保幼小中のPTAや地域住民を対象に田尻町の取組みについての紹介や意見交換を行った。 令和5年4月に認定こども園への移行に備え、条例整備を行った。</p> <p>○ALTの保幼小中での勤務や、小学校への英語専科教員の配置、デジタル教科書・AIDリルの活用など、英語教育の充実を図った。</p> <p>○1人1台端末を活用した授業を開始。全教室に大型提示装置を設置し、デジタル教科書やAIDリルを活用した効果的・効率的な授業を展開している。また、コロナの影響で登校できない児童生徒への支援として、オンラインによる授業の配信や会議システム「Meet」による健康観察等を行った。</p> <p>○中学校の生徒たちが役場、地域、企業と連携して、田尻町の課題と向き合い、グループごとに「自分たちに何ができるか」という視点で探究的な学習を行った。中学生と役場や地域方とのミーティングは年3回実施した。</p> <p>○災害時の避難所にもなっている小中学校体育館の空調を整備した。 *先進的な授業や学習の実施、個別相談ができる機能を有した教育センターを開設するとともに、見学会を12回開催し、61名の参加があった。</p>	<p>○保幼小中全教職員を対象とした保幼小中一貫教育の実践に関する研修会を開催した。探究学習について一貫して取り組むことができるよう、中学校におけるSDGsの実践発表や「答えのない問いを考える」をテーマにした講演会やグループ協議を行った。 *一貫校の導入の検討について、田尻町保幼小中一貫教育検討委員会を年2回開催し、めざす子ども像を「自分の価値を見出し よりよい未来を拓くたじりっ子」とし、このめざす子ども像をもとに各学校園の教育目標を設定していくこととした。また、令和5年度より認定子ども園となることから、これまでの保幼小中一貫教育という呼称をたじり一貫教育へと変更した。</p> <p>○ALTの保幼小中での勤務や、小学校への英語専科教員の配置、デジタル教科書・AIDリルの活用など、英語教育の充実を図った。</p> <p>○1人1台端末を効果的に活用した授業実践を公開し、スキルの向上を図っている。グループ学習などにおいて、Google Jamboard(共同作業に適したデジタルホワイトボード)を活用して、考えを共有したり、問題解決を行ったりしている。</p> <p>○中学校の生徒たちが、SDGsをテーマとした地域と連携した探究学習「SDGs TO TAJIRI」を行い、社会に参画しながら地域課題の解決に取り組んだ。都市みどり課と連携し駅前のラッピングポスターのデザインを考案したり、町内の店舗と連携しSDGs弁当を調理販売したりした。</p> <p>○一貫教育施設の基本構想策定に向け、年5回建築事務所と基本構想の策定にあたっての背景を共有したり、施設配置やボリューム検討を行った。</p>	<p>○こども園、小学校、中学校が主体となり、一貫教育準備委員会を結成し、一貫教育に対する機運の醸成、一貫教育の取組の検討を進めることができた。 また、こども園、小学校、中学校の教職員と一貫教育推進課による合同検討組織を立ち上げ、月1回の定例会議において一貫教育の取組や今後の推進方針を協同しながら進めることができた。 *一貫校の導入の検討について、田尻町一貫教育審議会を年2回開催し、田尻町一貫教育施設整備の基本構想に対して議論を行った。また、保護者・地域・教職員を対象として、田尻町教育フォーラムを開催し、新しい時代の学校施設の在り方について、学識経験者を招聘し、ご講演いただいた。</p> <p>○国際理解教育の一環として、関西国際センターの研修参加者を小学校に招待し、文化交流を行った。中学校では、英会話クラブを部活動として新規に立ち上げた。</p> <p>○Google form(回答状況が速やかに集計・グラフ化されるツール)を活用して学習のふりかえり活動を行ったり、Google Jamboard(共同作業に適したデジタルホワイトボード)を活用して、考えを共有したり、問題解決を行ったりするなど、1人1台端末の日常的な活用が促進されている。</p> <p>○地域と連携した特色ある学習として、田尻町立小学校の5年生の児童が田尻町漁業協同組合等と連携を図りながら、自ら課題を設定し、課題解決に向けて取り組むことで地域の一員として社会に参画する意識を高めることができた。</p> <p>○田尻町一貫教育施設整備に係る基本構想を10月末に策定することができた。次段階である基本計画策定に向け、令和6年度業務に向けての整理を行った。</p>	<p>○こども園、小学校、中学校が主体となり、一貫教育準備委員会において教務部会、研究部会、生徒指導部会の3部会を設置した。 また、こども園、小学校、中学校の教職員と一貫教育推進課による合同会議を月1回の頻度で開催し、一貫教育の取組や今後の推進方針を検討することができた。 *一貫校の施設整備において、認定こども園、小学校、中学校を一体的に整備することは是非について、田尻町一貫教育審議会に諮問し、年4回開催した会議での協議の上、一体化することとは「是」として答申をいただいた。また、保護者・地域・教職員を対象として、田尻町教育フォーラムを開催し、0歳から15歳までの一貫教育について、学識経験者を招聘し、ご講演いただいた。</p> <p>○国際理解教育の一環として、関西国際センターの研修参加者を小学校に招待し、文化交流を行った。また、中学校にBASE in OSAKA(大阪府が開発したAIによる自動採点機能付きの英語学習アプリ)をトライアル導入し、発話や発音を中心にICTの効果的な活用を進めた。</p> <p>○授業支援ソフトとして、ロイノートを導入したことにより、子どもたち一人ひとりの考えがカードとして可視化されるため、他者の考えを客観的に捉えることができ、協働的な学びが促進された。</p> <p>○地域と連携した特色ある学習として、田尻町立小学校の6年生の児童が田尻町役場と連携を図りながら、自ら課題を設定し、課題解決に向けて取り組むことで地域の一員として社会に参画する意識を高めることができた。</p> <p>○田尻町一貫教育施設整備に係る基本構想にて今後の主な検討事項としていた①認定こども園、小学校、中学校を一体化すること、②プールのあり方について検討を行い、②については、学校の中に整備しないことが決定した。①については、審議会からいただいた答申をもとに今後の方針決定に向け引き続き検討を行う。 ○小学校において、トイレ洋式化工事を実施した。今回の洋式化工事により、小学校のトイレ洋式化率は64.4%となった。</p> <p>○近隣市町村を含めた、夢に向かって取り組む若者を応援し、その成果や体験談を本町小中学生に伝えることで、将来の夢の実現を身近に感じてもらい、チャレンジする機運を高めることにつながる「たじり夢サポート給付金」事業を開始した。</p> <p>○小中学生を対象に、地元の学生が勉強会の講師となり、小学生、中学生、大学生の世代間交流の促進にもつながるサマスタ(夏季勉強会)を実施した。</p>
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1)基本方向					
【まち】 3. 多様な人材の活躍を推進し、確かな地域の連携があり安全・安心で暮らしやすいまちをつくる	■住み続けたい意向 5年後に 75 %	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに関わる各住民団体の力を高め、これらの連携の下、全ての人が支え合い、互いに包摂される親密な地域社会を形成することにより、日常的にやさしく、緊急時に強いまちづくりを進める。</li> <li>・新たな地域づくり人材の発掘と育成をめざし、様々な分野における既存の地域活動への参画を促し、活動のすそ野を広げ、活性化を図る。</li> </ul>					
(2) 具体的な施策及び重要業績評価指標 (KPI)							
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
協働のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>* まちを楽しむひとづくり</li> <li>* 地域を支える仕組みづくり</li> <li>* 地域の身近な場所で集える居場所づくり事業</li> </ul>	地域活動への参加者割合 50% ⇒ 75% 地域活動助成金助成件数 ⇒ 5年間で10件 たまり場の箇所数 3箇所 ⇒ 6箇所	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			地域活動助成金助成件数: 2件 たまり場の箇所数: 3箇所 (参加者数 約300人/月)	地域活動助成金助成件数: 2件 たまり場の箇所数: 4箇所 (参加者数 約400人/月)	地域活動助成金助成件数: 2件 たまり場の箇所数: 5箇所 (参加者数 1,246人/月)	地域活動助成金助成件数: 1件 たまり場の箇所数: 6箇所 (参加者数 2,407人/月)	地域活動助成金助成件数: 2件 たまり場の箇所数: 6箇所 (参加者数 2,036人/月)
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「青葉のつどい」及び「親学習講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止。</li> <li>* 令和3年度より、具体策を検討する。 ・広報紙へのPR記事の掲載 1回/年 ・ワクワクたじりまちづくり補助金申請件数 4件、補助金交付決定件数 2件</li> <li>* 次年度以降に、具体策を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「青葉のつどい」は中止し、令和4年度以降に新たな事業展開を検討する。「親学習講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業を中止。</li> <li>* 令和4年度より、具体策を検討する。 広報紙へのPR記事の掲載 1回/年 ワクワクたじりまちづくり補助金申請件数 2件、補助金交付決定件数 2件</li> <li>* 新規事業として憩いの場事業を令和3年10月から実施。 居場所づくり事業 3箇所、なごみの里(カフェ) 1箇所(コロナにより休止) 憩いの場事業 1箇所 合計5箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 田尻町教育センターにおいて、町PTA主催による親学習会を開催(2回)</li> <li>* 高齢者生きがい事業として、高齢障害支援課と生涯学習課の協働で、生きがいづくりや健康づくりのための機会の提供を検討。「たじりふれ愛大学」を令和5年度より開催することになる。</li> <li>* ボランティア活動に対するポイント制度の創設を検討。健康ポイントと合わせた事業として相乗効果を図る方向で令和5年度より実施</li> <li>* ワクワクたじりまちづくり補助金申請件数 2件、補助金交付決定件数 2件 広報紙へのPR記事の掲載 1回/年</li> <li>* 居場所づくり事業 3箇所(延べ266人/月) なごみの里(カフェ) 1箇所(12人/月) 憩いの場事業 1箇所(延べ968人/月) 合計5箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 田尻町教育センターにおいて、町PTA主催による親学習会を開催した(2回)</li> <li>* 高齢者生きがい事業として、高齢障害支援課と生涯学習課の協働で、生きがいづくりや健康づくりのための機会の提供を検討。たじりふれ愛大学を開校し、19人が参加した。</li> <li>* ワクワクたじりまちづくり補助金申請件数 1件、補助金交付決定件数 1件 広報紙へのPR記事の掲載 1回/年</li> <li>* 居場所づくり事業 3箇所(284人/月) なごみの里(カフェ) 1箇所(23人/月) 憩いの場事業 1箇所(994人/月) まち愛テラス 1箇所(1,106人/月) 合計6箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 田尻町教育センターにおいて、町PTA主催による親学習会を開催した(1回 8名)</li> <li>* 高齢者生きがい事業として、一貫教育推進課と高齢障害支援課との協働で、生きがいづくりや健康づくりのための機会の提供を検討。</li> <li>* 「高齢者いきがい事業」から「生涯学習事業」に体系を再編した「たじりまなび塾」を開校し、生涯学習を通じ健康で生きがいのある豊かな生活を送られるよう学びの機会を提供した。(延べ28名)</li> <li>* ワクワクたじりまちづくり補助金申請件数2件交付決定件数2件広報紙へのPR記事の掲載1回/年</li> <li>* 居場所づくり事業 3箇所(273人/月) なごみの里(カフェ) 1箇所(27人/月) 憩いの場事業 1箇所(804人/月) まち愛テラス 1箇所(932人/月) 合計6箇所</li> </ul>
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
総合的防災体制の確立	○自主防災組織の育成 ○防災訓練等への参加促進	防災士取得者数 ⇒ 5年後 30人 防災訓練参加人数 ⇒ 5年後 3,500人	KPI達成状況 防災士取得者数：7人 防災訓練参加人数：未実施 安否確認タオル掲出訓練参加世帯：1,436世帯	KPI達成状況 防災士取得者数：10人 防災訓練参加人数：82名 安否確認タオル掲出訓練参加世帯：1,567世帯	KPI達成状況 防災士取得者数：9人 総合防災訓練参加人数：約500名、防災関係協力機関：21機関 安否確認タオル掲出訓練回数：2回 参加世帯：2,859世帯	KPI達成状況 防災士取得者数：8人 安否確認タオル掲出訓練回数：2回 参加世帯：2812世帯	KPI達成状況 防災士取得者数：7人 安否確認タオル掲出訓練1回 参加世帯：1,317世帯 物資配布訓練1回 参加世帯：1,945世帯
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			○自主防災会(住民)で何をしていくのか(できるのか)を考えていくため定例会議(毎月)を実施予定であったが、R2年度はコロナ感染拡大防止のため、4回のみの実施となった。 自主防災会の活動や防災に関する情報等を掲載する「自主防災会だより」を発行。(3回/年) 自主防災会ほか関係者の防災士資格取得に参加(10人) ○3月開催予定の町総合防災訓練に向け、行政と共に検討・準備していたが、R2年度はコロナ感染拡大防止のため規模を縮小し、自主防災会・地区会を中心に安否確認タオル掲出訓練のみ実施。(2回/年)	○一般公募ほか関係者の防災士資格取得を支援 自主防災会の役員会を月に1回実施。会議にて、安否確認訓練の実施要領や、「自主防災会だより」の記事内容について検討 自主防災会の活動や防災に関する情報等を掲載する「自主防災会だより」を発行(3回/年) ○3月に町総合防災訓練を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小し、自主防災会・地区会を中心に午前9時より安否確認訓練を実施。その後、午前10時と午後2時より、タブレット端末等を利用し、防災について学ばりリモート型防災アクションを実施。	○一般公募ほか関係者の防災士資格取得を支援 自主防災会の役員会を月に1回実施。会議にて、安否確認訓練の実施要領や、「自主防災会だより」の記事内容について検討 自主防災会の活動や防災に関する情報等を掲載する「自主防災会だより」を発行(3回/年) R5年2月5日(日)に堺市総合防災センターを視察見学。参加者 22名 ○R5年3月に総合防災マップ及びマイタイムライン作成説明会を実施。(5回/約100名) ○R5年3月19日(日)に「田尻町地域防災計画」に基づき、総合防災訓練を駅上広場にて開催。町、各防災関係機関・団体及び地域住民が参加し、災害発生から災害復旧までの流れを通しての実動訓練を実施。また、同時に会場内で防災関係機関の協力により展示や体験ブースを設置し、啓発を行った。	○一般公募ほか関係者の防災士資格取得を支援 ○田尻町自主防災会及び田尻町防犯連絡協議会を統一した田尻町安全安心住民協議会を発足役員会を月に1回実施。会議にて、安否確認訓練の実施要領や防犯活動の日程・内容、備蓄資器材の選定、防犯防災イベントの内容等多岐にわたり検討 田尻町安全安心住民協議会の活動や防災に関する情報等を掲載する「田尻町安全安心だより」を発行(R5:3回発行) R5年12月10日(日)に和歌山市消防局 防災学習センターを視察見学。参加者 25名 ○各種団体向けにマイ・タイムライン等、啓発を実施。(6回/約90名)	○一般公募ほか関係者の防災士資格取得を支援 田尻町安全安心住民協議会役員会を月に1回実施。会議にて、安否確認訓練の実施要領や防犯活動の日程・内容、備蓄資器材の選定、防犯防災イベントの内容等多岐にわたり検討 田尻町安全安心住民協議会の活動や防災に関する情報等を掲載する「田尻町安全安心だより」を発行(R6:1回発行) R6年10月27日(日)に大阪府警察学校にて大阪府警察及び泉州南消防の協力のもと、防犯防災イベントを開催。参加者220名。 ○吉見地区会の4つの班を対象にコミュニティ・タイムラインを作成
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続
災害に強いまちづくりの促進	○住宅耐震診断・耐震改修事業	住宅耐震診断・耐震改修件数 7件 ⇒ 10件 (5年間で)	KPI達成状況 住宅耐震診断:1件 住宅耐震改修:0件	KPI達成状況 住宅耐震診断:1件 住宅耐震改修:0件	KPI達成状況 ○住宅耐震診断:0件 住宅耐震改修:0件	KPI達成状況 ○住宅耐震診断:0件 住宅耐震改修:0件	KPI達成状況 住宅耐震診断:2件 住宅耐震改修:0件
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			○住宅耐震診断:1件 住宅耐震改修:0件	○住宅耐震診断:1件 住宅耐震改修:0件	住宅耐震診断:0件 住宅耐震改修:0件	住宅耐震診断:0件 住宅耐震改修:0件 令和6年度からの制度拡充に向けて検討を行った。	住宅耐震診断:2件 住宅耐震改修:0件
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
生涯にわたる元気づくり活動の促進	○健康増進事業(スマイル元氣トライ活動) *健活チャレンジ事業(健康ポイント)	健康増進事業(参加者) 200人 ⇒ 300人 健活チャレンジ事業(健康ポイント) 0人 ⇒ 500人	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			健康増進事業(参加者): 42人 健活チャレンジ事業(健康ポイント): 294人	健康増進事業(参加者): 28人 健活チャレンジ事業(健康ポイント): 528人	健康増進事業(参加者): 991人 健活チャレンジ事業(健康ポイント): 618人	健康増進事業(参加者): 2,954人 健活チャレンジ事業(健康ポイント): 803人	健康増進事業(参加者): 2,192人 健活チャレンジ事業(健康ポイント事業): 798人
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			○新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施回数が少なかった。 *健康ポイント事業は、コロナやっつけポイントを実施した。	○健康増進事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施が1回しかできなかった。 *健康ポイント事業は、介護予防ポイント事業、健活チャレンジ事業を統合し、新たな健康ポイント事業を実施。参加者は、増加傾向である。体力や年齢に応じた参加コースを設定。	○健康増進事業は、物産展への出店、スマイル元氣トライ教室等の開催を行うことができ、目標を大きく上回ることができた。 *健康ポイント事業は、介護予防ポイント事業と統合され、2年目を迎えた。引き続き体力や年齢に応じた参加コースを設定。医療機関への周知や広報特集記事などの啓発が増加の要因となったと考えられる。	○健康増進事業は、町制70周年記念事業の開催などもあり、目標を大きく上回ることができた。 *健康ポイント事業は、介護予防ポイントとボランティアポイントと統合し、たじりっポイント事業として、事業を再編し拡大したことが増加の要因となったと考えられる。	○健康増進事業は、スマイル元氣トライ教室等の開催、第2次保健計画ワークショップを行うことができ、目標を上回ることができた。 ○健康ポイントについては、若干数減っているものの、ほぼ横ばいであり、参加者が固定化されてきている可能性がある。働く世代など、今まで参加していない層への働きかけが必要と考える。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
地域ぐるみの見守り活動事業	○子どもの安全見守り活動 ○防犯活動 ○犯罪抑止事業	子どもの安全見守り隊 隊員数 29団体 ⇒ 34団体 (個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数 1回/週 ⇒ 2回/週	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			子どもの安全見守り隊 隊員数: 33団体(個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数: 1回/週	子どもの安全見守り隊 隊員数: 32団体(個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数: 1回/週	子どもの安全見守り隊 隊員数: 32団体(個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数: 1回/週、不審者情報等があればその都度実施	子どもの安全見守り隊 隊員数: 33団体(個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数: 1回/週、不審者情報等があればその都度実施	子どもの安全見守り隊 隊員数: 35団体(個人ボランティア含む) パトロール活動実施回数: 1回/週、不審者情報等があればその都度実施
			具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況	具体的な取組進捗状況
			○小学校1年生の登下校時に、通学路等に立ち、横断歩道の横断補助や登下校時の見守り活動を実施。 また、始業式及び終業式の日を「見守りデー」とし、参加メンバーで、登校時に通学路の巡回見守り活動を実施。 ○H23に設置したSDカード式の防犯カメラを1台無線式に更新、新たに3台追加し、住民の安全確保の他、犯罪の抑止に資した。(町設置台数合計41台) ・町内における犯罪認知件数(空港島内を除く)45件/年	○小学校1年生の登下校時に、通学路等に立ち、横断歩道の横断補助や登下校時の見守り活動を実施。 ○始業式、終業式の日に合わせて「ながら見守り」を呼びかける町内放送や、下校時間に合わせて子どもたちの声による「見守りアナウンス」を実施。また、定期的に広報誌にて「ながら見守り」を呼びかける。 ○安まちメール掲載件数 6件/年 安まちメールの情報は、公民館とふれ愛センターの地域安全センターに掲載し、注意を呼びかける。	○小学校1年生の登下校時に、通学路等に立ち、横断歩道の横断補助や登下校時の見守り活動を実施。 ○始業式、終業式の日に合わせて「ながら見守り」を呼びかける町内放送や、下校時間に合わせて子どもたちの声による「見守りアナウンス」を実施。また、定期的に広報誌にて「ながら見守り」を呼びかける。 ○「ながら見守り隊」の発足。見守りグッズを着用し、ウォーキングや犬の散歩等、普段の生活から無理なく子どもや高齢者を見守る活動。(R5.2～登録者数 約400人) ○安まちメール掲載件数 3件/年 安まちメールの情報は、公民館とふれ愛センターの地域安全センターに掲載し、注意を呼びかける。	○小学校1年生の登下校時に、通学路等に立ち、横断歩道の横断補助や登下校時の見守り活動を実施。 ○始業式、終業式の日に合わせて「ながら見守り」を呼びかける町内放送や、下校時間に合わせて子どもたちの声による「見守りアナウンス」を実施。また、定期的に広報誌にて「ながら見守り」を呼びかける。 ○たじり安全安心見守り隊により、「ながら見守り」を実施。 見守りグッズを着用し、ウォーキングや犬の散歩等、普段の生活から無理なく子どもや高齢者を見守る活動。(R5.2～登録者数 約570人) ○特殊詐欺対策機器貸与と事業 町内に居住する65歳以上の者がいる世帯を対象に、高齢者の特殊詐欺被害等の未然防止を図るため、特殊詐欺対策機器(自動通話録音装置)の貸出を実施。1世帯につき1台(無料) 貸出数25台	○小学校1～2年生の登下校時に、通学路等に立ち、横断歩道の横断補助や登下校時の見守り活動を実施。 ○始業式、終業式の日に合わせて「ながら見守り」を呼びかける町内放送や、下校時間に合わせて子どもたちの声による「見守りアナウンス」を実施。また、定期的に広報誌にて「ながら見守り」を呼びかける。 ○たじり安全安心見守り隊により、「ながら見守り」を実施。 見守りグッズを着用し、ウォーキングや犬の散歩等、普段の生活から無理なく子どもや高齢者を見守る活動。(R5.2～登録者数 約650人) ○特殊詐欺対策機器貸与と事業 町内に居住する65歳以上の者がいる世帯を対象に、高齢者の特殊詐欺被害等の未然防止を図るため、特殊詐欺対策機器(自動通話録音装置)の貸出を実施。1世帯につき1台(無料) 貸出数30台
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
<p>&lt;新規&gt; 多世代交流・三世代で暮らすまちづくり</p>	<p>* 多世代交流の場づくり</p>	<p>住民農園利用区画数 0区画 ⇒ 40区画/1,000㎡ 多世代交流事業回数 3回/年度 ⇒ 6回/年度</p>	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			住民農園利用区画数：0区画 多世代交流事業回数：0回/年度	住民農園利用区画数：0区画 多世代交流事業回数：0回/年度	住民農園利用区画数：0区画 多世代交流事業回数：0回/年度	住民農園利用区画数：0区画 多世代交流事業回数：0回/年度	体験農園利用者数：0人 多世代交流事業回数：0回/年度
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			<p>* 田尻町観光協会が実施を予定している住民農園事業について、候補地を選定を終え、観光協会、土地所有者の同意を得た。令和4年度中の農園開設に向け、中間管理権を設定するため、大阪府を通じて大阪府みどり公社と手続きの協議を進めたが、大阪府みどり公社の都合で手続きを行う事が出来なくなった。</p>	<p>* 田尻町観光協会が実施を予定している住民農園事業について、候補地を選定を終え、観光協会、土地所有者の同意を得た。令和4年度中の農園開設に向け、中間管理権を設定するため、大阪府を通じて大阪府みどり公社と手続きの協議を進めたが、大阪府みどり公社の都合で手続きを行う事が出来なくなった。</p>	<p>* 田尻町観光協会が実施を予定している住民農園事業について、候補地を選定を終え、観光協会、土地所有者の同意を得た。令和4年度中の農園開設に向け、中間管理権を設定するため、大阪府を通じて大阪府みどり公社と手続きの協議を進めたが、大阪府みどり公社の都合で手続きを行う事が出来なくなった。</p>	<p>* 田尻町観光協会が実施を予定していた住民農園事業について、候補地を選定を終え、観光協会、土地所有者の同意を得た。令和4年度中の農園開設に向け、中間管理権を設定するため、大阪府を通じて大阪府みどり公社と手続きの協議を進めたが、大阪府みどり公社の都合で手続きを行う事が出来なくなった。</p>	<p>町内に体験型観光農園を行う事業者を誘致し、令和7年度に開設する予定となっている。事業者と連携し、利用者の確保及び多世代イベントをすすめる。</p>
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
<p>広域行政・広域連携の推進</p>	<p>○広域行政・広域連携の強化</p>	<p>広域連携事務数 66事務 ⇒ 68事務</p>	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			広域連携事務数：66事務	広域連携事務数：66事務	広域連携事務数：67事務	広域連携事務数：67事務	広域連携事務数：66事務
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			<p>○3市3町による広域連携勉強会において、埋蔵文化財、物品共同調達等について、調査・研究を行った。</p>	<p>○3市3町による広域連携勉強会において、埋蔵文化財、公平委員会、物品共同調達等について、調査・研究を行った。埋蔵文化財については、令和4年4月から広域連携事務委託を開始する。(泉南市、阪南市及び田尻町における埋蔵文化財行政に関する事務を泉佐野市に委託する協定書を締結した。)</p>	<p>○3市3町による広域連携勉強会において、公平委員会、物品共同調達等について、調査・研究を行った。公平委員会の広域化については、メリットがデメリットを上回らないため、検討を終了することとなった。 ○泉南市と合同で「泉南・田尻成年後見総合センター(中核機関)の開設に向けて協定書を締結した。 ○貝塚市を中心とするLEDや施設の法定点検などの広域共同化に対する会議に参加し、検討を行った。</p>	<p>○3市3町による広域連携勉強会において、社会福祉法人の認定事務等に係る広域化について、調査・研究を行った。 ○泉南市と合同で泉南・田尻成年後見総合センター(中核機関)を令和5年4月に開設した。 ○貝塚市を中心とするLEDや施設の法定点検などの広域共同化の検討を行っていたが、メリットがデメリットを上回らないため、参画しないこととなった。</p>	<p>○3市3町による広域連携勉強会において、社会福祉法人の認定事務等に係る広域化について、調査・研究を行った。また、専門人材の確保・育成、地域内経済循環、結婚支援の広域連携などについて検討を行った。 ○泉南市と合同で行う「泉南・田尻成年後見総合センター(中核機関)」について、啓発・研修会を行った。(60名)</p>
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			

総合戦略進捗状況及び効果検証調査

基本目標	数値目標	(1)基本方向					
【しごと】 4. 地域の資源を活かしてにぎわいをつくり、活発な交流活動を促進する	■交流人口 5年後に 16 万人	・歩いて巡ることのできる町の特性を活かし、多様な人が集まり、交流する、町の核となるにぎわい交流ゾーンを活用し、まちなかにあるさまざまな地域資源を結び合わせて、産業の活力とにぎわいを創造する。□					
(2)具体的な施策及び重要業績評価指標(KPI)							
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
商工業の振興と雇用・就業	○地域就労支援事業	合同面接会等開催回数 0回 ⇒ 2回	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			合同面接会等開催回数：1回	合同面接会等開催回数：1回	合同面接会等開催回数：1回	合同面接会等開催回数：1回	合同面接会等開催回数：1回
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			○近隣市町や各商工会等と連携し合同企業就職面接会を実施し、地域での雇用促進に寄与した。 新型コロナウイルス感染症の影響で開催できる講座に限られるなか、フォークリフト運転技能講習を開催し2名が受講した。	○近隣市町や各商工会等と連携し合同企業就職面接会を実施し、地域での雇用促進に寄与した。 新型コロナウイルス感染症の影響で開催できる講座に限られるなか、フォークリフト運転技能講習を開催し1名、パソコン基礎講座等を3名が受講した。	○近隣市町や各商工会等と連携し合同企業就職面接会を実施し、地域での雇用促進に寄与した。 新型コロナウイルス感染症の影響で開催できる講座に限られるなか、フォークリフト運転技能講習を開催し1名が受講した。	○近隣市町や各商工会等と連携し合同企業就職面接会を実施し、地域での雇用促進に寄与した。 また、就労支援講座について、パソコン講座1名、フォークリフト運転技能講習を開催し2名が受講した。	○近隣市町や各商工会等と連携し合同企業就職面接会を実施し、地域での雇用促進に寄与した。 また、就労支援講座について、パソコン講座1名が受講した。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
農漁業と観光・交流の推進	○観光振興体制の充実(観光協会との連携) ○農漁業の連携 ○農漁業の推進 ○地元特産品づくりの推進 ○観光プロモーションの推進	交流人口 13万人 ⇒ 16万人 プロモーション 2回 ⇒ 4回	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			交流人口：13万人 プロモーション実施回数：2回	交流人口：13万人 プロモーション実施回数：2回	交流人口：16万人 プロモーション実施回数：4回	交流人口：16万人 プロモーション実施回数：4回	交流人口：16万人 プロモーション実施回数：4回
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			○観光協会が設立され、事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、実施できなかった。 ○日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○ふるさと納税返礼品とするなど吉見早生のたまねぎの知名度向上に努めた。 ○KIX泉州ツーリズムビューローと連携し、デジタルパンフレットを作成しJapan Cycle Routeの魅力発信した。 観光協会と連携し、観光プロモーション推進強化を図る。	○田尻漁港内に観光協会が観光案内所を開設し、町内の観光資源や店舗のPRを行った。 ○日曜朝市や農業祭との連携を強化した。 ○ふるさと納税返礼品とするなど吉見早生のたまねぎの知名度向上に努めた。 ○KIX泉州ツーリズムビューロー、観光協会、漁組等と連携し、町内の海産物等の魅力発信を行った。	○田尻漁港内に観光協会が開設している観光案内所において、町内の観光資源や店舗のPRを行った。 ○観光協会と農業関係者等と連携し、「泉州黄たまねぎ祭」や「日曜屋市」を開催し、特産品及び町内店舗等のPRを行った。 ○ふるさと納税返礼品とするなど吉見早生のたまねぎの知名度向上に努めた。 ○観光協会を中心に漁組、町内店舗の他、KIX泉州ツーリズムビューローや近隣市町等と連携し、「大阪泉州の牡蠣」の魅力発信するためイベント等を行った。	○田尻漁港内に観光協会が開設している観光案内所において、町内の観光資源や店舗のPRを行った。 ○観光協会と農業・漁業・商工関係者等と連携し、「泉州黄たまねぎ祭」や「土曜屋市」を開催し、特産品及び町内店舗等のPRを行った。 ○ふるさと納税返礼品とするなど吉見早生のたまねぎの知名度向上に努めた。 ○観光協会を中心に漁組、町内店舗の他、KIX泉州ツーリズムビューローや近隣市町等と連携し、「大阪泉州の牡蠣」の魅力発信・機運醸成するためイベント等を行った。	○田尻漁港内に観光協会が開設している観光案内所において、町内の観光資源や店舗のPRを行った。 ○観光協会と農業・漁業・商工関係者等と連携し、「泉州黄たまねぎ祭」や「日曜屋市」を開催し、特産品及び町内店舗等のPRを行った。 ○ふるさと納税返礼品とするなど吉見早生のたまねぎの知名度向上に努めた。 ○観光協会を中心に漁組、町内店舗の他、KIX泉州ツーリズムビューローや近隣市町等と連携し、「大阪泉州の牡蠣」の魅力発信するためイベント等を行った。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	
令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続			令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	

施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
コミュニティビジネスの促進	〇コミュニティビジネスの促進(観光協会との連携)	団体数 0団体 ⇒ 1団体	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			団体数：0団体	団体数：0団体	団体数：0団体	団体数：0団体	団体数：0団体
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			〇吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業は継続。 販路拡大・ブランド化を確かなものにするため、「たじりたまねぎ発祥の地協議会」発足し、ふるさと納税の返礼品とする運用を開始。限定30箱(3kg)は完売。知名度の向上を図った。 観光協会と連携し、事業実施に向けて検討を行う。	〇吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業は継続。 販路拡大の取組として、ブランド野菜を取り扱っている大阪市内の小売店でも販売を行った。 ブランド化の取組として、ふるさと納税の返礼品にプレミアム返礼品「特大田尻たまねぎ」を追加した。また、大阪調理製菓専門学校と連携し「おつまみのタレ」の開発に着手し、R4.5.15に開催予定の泉州黄たまねぎ祭での販売を目指し準備中。	〇吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業は継続。 ブランド化の取組として、ふるさと納税の返礼品として、泉州黄たまねぎ「吉見早生」の継続実施。また、大阪調理製菓専門学校と連携して開発した「おつまみのタレ」や地元企業の協力のもと、「吉見早生」のピクルスを製造販売した。今年度に引き続き、R5.5.14に開催の泉州黄たまねぎ祭でも販売するため追加で製造。	〇吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業は継続。 ブランド化の取組として、ふるさと納税の返礼品として、泉州黄たまねぎ「吉見早生」の継続実施。また、大阪調理製菓専門学校と連携して開発した「おつまみのタレ」を製造販売した。今年度に引き続き、R6.5.19に開催の泉州黄たまねぎ祭でも販売するため追加で製造。	〇吉見早生の大量生産に向けて種子の採取事業は継続。 ブランド化の取組として、ふるさと納税の返礼品として、泉州黄たまねぎ「吉見早生」の継続実施。また、大阪調理製菓専門学校と連携して開発した「おつまみのタレ」「ブルたま生ふりかけ」を製造した。今年度に引き続き、R7.5.18に開催の泉州黄たまねぎ祭でも販売するため追加で製造準備中。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続
施策	事業	KPI(R2⇒R6)	R2	R3	R4	R5	R6
<新規> にぎわい交流ゾーンを活用したまちの活性化	*にぎわい交流ゾーンを活用したまちの活性化	にぎわいの創出を目的としたイベント開催数 ⇒ 4回/年度	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況	KPI達成状況
			にぎわいの創出を目的としたイベント開催数：0回/年度	にぎわいの創出を目的としたイベント開催数：0回/年度	にぎわいの創出を目的としたイベント開催数：3回/年度	にぎわいの創出を目的としたイベント開催数：3回/年度	にぎわいの創出を目的としたイベント開催数：4回/年度
			具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況	具体的な取組 進捗状況
			〇にぎわい創出イベント ・にぎわい創出イベントを観光協会等と連携して実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止として実施できなかった。次年度以降実施に向けて連携する。	〇にぎわい創出イベント ・にぎわい創出イベントを観光協会等と連携して実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止として令和4年5月に延期し実施する予定。	〇にぎわい創出イベント ・日曜屋市や牡蠣フェスの他、観光協会や漁協とともに民間事業者と連携し、サンセットライブやうまいもん祭が開催された。	〇にぎわい創出イベント 観光協会や漁協とともに民間事業者と連携し、サンセットライブ(2回)やうまいもん祭が開催された。	〇にぎわい創出イベント 観光協会や漁協とともに民間事業者と連携し、サンセットライブ(2回)やうまいもん祭(2回)が開催された。
			効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証	効果・検証
			令和3年6月に書面審議を実施し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和4年6月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和5年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和6年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続	令和7年7月に審議会を開催し、事業の進捗状況及び効果検証を行った。 継続